

# 平成30年 **8**月の大阪森林便り



## 今月の木の話

### 人工では真似のできない木目 色の美しさ

- ・木目模様や色が、木材のイメージを決定する重要な要素になっています。
  - ・木材は不規則な細胞の組み合わせで成り立っていて、特に年輪、導管の組み合わせが板面に現れます。
  - ・木目は丸太から柱や板を製材するとき、どのような切り方をするかによって異なります。切り方によって柾目、板目のパターンがあります。
  - ・木目の間隔には「ゆらぎ」があるため、美しい、良いイメージを与えます。
  - ・木を美しいと感じるのは、年輪が作り出す模様や色合いがよいからだけではなく、木の肌触りや香りまで含めてのことです。
  - ・住まいには、桧・杉・松などの針葉樹が主に使われます。
  - ・肌ざわりや香りまで鑑賞の対象とする日本では本来、住まいに使っている木には塗料は使いません。「白木文化」と呼ばれる日本独自のものです。
  - ・広葉樹は細胞のつくり方や並び方が針葉樹と異なっているため、年輪が目立たない木も多いのですが、水を通す導管細胞の大小やその並び方によって変化に富んでいます。家具やや装飾材その他に使われています。
- (日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋)



## 大阪北部地震

### コンクリートブロックから安全な木製フェンスへ

被災者の方々には心よりお見舞い申し上げます。

- ・地震翌日の産経新聞朝刊のコラムに「昔は生垣と板塀だった」とありました。
- ・コンクリートブロックは確かに安いです。景観がすこぶる悪い、落書きも多い。
- ・生垣は手入れも大変です。費用も掛かりますが、板塀ならたとえ倒れても大惨事にはなりません。(2018年7月5日 東洋木材新聞記事から抜粋引用)



### 北米産丸太、7月積み横ばい 対日価格

- 北米産丸太の7月積み日本向け価格の交渉は、前月分と同水準で決着。
- 今後は山火事の懸念も出る時期で供給が減る可能性もあります。

(2018年7月14日 日本経済新聞記事から抜粋引用)

